

23. その他の女性生殖器がん

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容					
					体外照射	小線源治療								
1	婦人科	3	2	状況 実績	○ なし	○ なし	× なし	× なし	がん治療では、子宮がん、卵巣がんなど正確な診断に努め、初期・早期・進行期のいずれにもQOLの高い治療を目指します。	ア イ	http://www.irosakahosp.jp/outpatient/hujin.html http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2	放射線科	2	1	状況 実績	× なし	× なし	○ なし	× なし	放射線治療は、がんに対する集学的治療として他の診療科と連携しながら実施します。	ア イ	http://www.irosakahosp.jp/outpatient/ho_shasen.html http://	掲載あり	掲載なし	掲載あり
3				状況 実績						ア イ	http:// http://			
4				状況 実績						ア イ	http:// http://			
5				状況 実績						ア イ	http:// http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 子宮肉腫、絨毛がん、卵巣がん、膣がん、外陰がん
------------------------------------	----------------------------